

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

・安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

・定期的に点検する

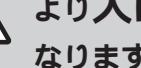
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまつていなか、故障したまま使用しないいか、などを点検してください。

・故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

・万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら
① 電源を切る
② ACパワーアダプターをコンセントから抜く
③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

⚠️ 警告 下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。
 

運転中は使用しない
自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一本体や水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない
ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、充電用接点や電源プラグに触れない
感電の原因となります。



指定以外のACパワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

⚠️ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

⚠️ 警告 注意を促す記号 行為を指示する記号
火災 感電 ブラグをコンセントから抜く
行為を禁止する記号
禁 禁 分解禁止 接触禁止

電池についての安全上のご注意

この機器はニカド充電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠️ 危険 指定された充電器以外で充電しない。

・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘビーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するヒショートすることがあります。

・充電式ニカド電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

⚠️ 警告

・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。

・乾電池は充電しない。

・指定された種類の電池を使用する。

⚠️ 注意

・+ - の向きを正しく入れる。

・電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

主な仕様

一般仕様
変調方式 周波数変調
搬送周波数 右チャンネル 2.8MHz
左チャンネル 2.3MHz
周波数特性 12 ~ 24,000Hz (MDR-IF420RK)
10 ~ 24,000Hz (MDR-IF520RK)

トランスミッター
電源 DC 9V (付属のACパワーアダプターを使用)
音声入力端子 ピンジャック/ステレオミニジャック
最大外形寸法 約120×260×135mm
(幅×高さ×奥行き)
質量 約190g

ヘッドホン
電源 付属の充電式ニカド電池
または単3形乾電池
質量 MDR-IF420RK 320g
MDR-IF520RK 390g
(付属の充電式ニカド電池含む)

付属ニカド充電池

NICAA (HJ)、1.2V、600mAh、Ni-Cd

付属品

ACパワーアダプター(1)、プラグアダプター(ステレオミニジャック/ステレオ標準プラグX1)、接続コード(約1m)、ステレオミニプラグ×1、ピンプラグ×2(1)、充電式ニカド電池、取扱説明書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)

別売りアクセサリー

・ソニー乾電池R6P (SR)

・付属のコードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき

・プラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャックモノラルミニプラグ)

・付属の接続コードの長さが、使用状況に合わないとき

接続コード RK-C305C (0.5m, ピンプラグ×2)

RK-C310C (1m, ピンプラグ×2)

RK-C320C (2m, ピンプラグ×2)

・付属のコードをなくしてしまったとき

接続コード RK-G129C (1.5m, ステレオミニプラグ×1)

・+ - の向きを正しく入れる。

・電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出してください。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

SONY

コードレスステレオヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠️ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとには、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-IF420RK MDR-IF520RK

Sony Corporation © 1996 Printed in Korea

主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンシステムです。トランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわざわざされることがなく、手軽にお使いいただけます。

・外來ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホンシステム

・最大10mまでの広い赤外線到達範囲

・ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用

・ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れ、オートパワーオン/オフ機能

・より臨場感のある再生を楽しめるサラウンド機能(MDR-IF520RKのみ)

・ヘッドホンの左右の音量を運動して調整できるVOL/BALANCEコントロールで左右のバランスも調節できます(MDR-IF520RKのみ)

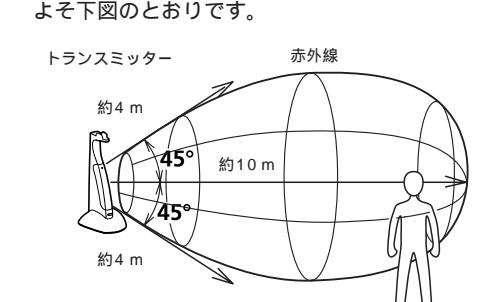
・ヘッドホンの電源は、付属の充電式ニカド電池による充電、または別売りの乾電池の二通り

まず充電!

本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時に充電されていません。お使いになる前に、必ず充電を行ってください。充電のしかたは、以下の「ヘッドホンを充電する」をご覧ください。

赤外線方式について

トランスミッターからの赤外線の届く範囲はおおよそ下図のとおりです。



ご注意

・このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であっても、ヘッドホンがトランスミッターから離れるにしたがって雑音(ヒスノイズ)が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。

・赤外線受光部を手や髪でおわねいでください。

・トランスミッターはヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であればお使いになれます。

・トランスミッターの位置や、お使いになる場所の状況によって、聞こえたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ご注意
製品上のCEマークはEU加盟国で販売されるもののみに有効です。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるもので。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

指定以外のACパワーアダプターを使わない

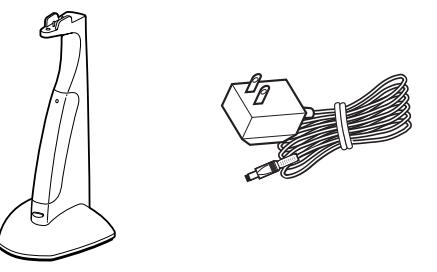
破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

▶ 準備

確認しましょう

はじめに内容物の確認をしてください。

- トランシミッター
- ACパワーアダプター



- 接続コード
(ピンプラグ ステレオミニプラグ)
- プラグアダプター

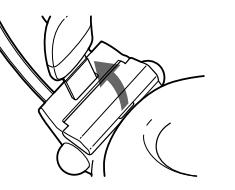
- ヘッドホン
- 充電式ニカド電池



ヘッドホンを充電する

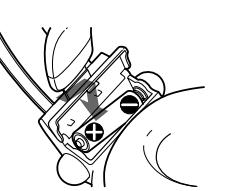
はじめてヘッドホンをお使いになる場合はヘッドホンは充電式になっています。はじめてヘッドホンをお使いになる場合は、次の手順にしたがって充電を行ってください。

- 左側のヘッドバンド内側にある電池ぶたを開ける。



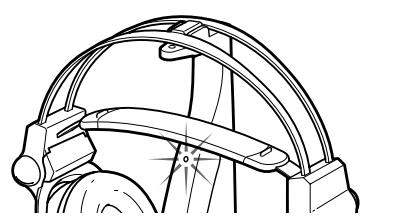
- 付属の充電式ニカド電池を入れる。

付属の充電式ニカド電池以外は使用しないでください。市販の充電式ニカド電池には充電できません。



- 電池ぶたを閉じる。

5 ヘッドホンとトランシミッターの充電用接点が接触するようにヘッドホンをトランシミッターの上にかける。
充電ランプが点灯します。



ご注意
本機は、安全のため付属の充電式電池のみ充電できるようになっています。他の同じ形の電池や充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。

充電ランプが点灯しない場合は
トランシミッター上部の充電用端子がヘッドホンの充電用の穴と正しく接続しているか、ヘッドホンの位置を確認してください。

ヘッドホンをお使いになったあと再充電するには
本機の充電は必ずしわがままで、ヘッドホンをトランシミッターの上に掛けたままにしておいても、充電のしきりによって故障することはあります。ヘッドホンを使わないときはいつもトランシミッターの上に掛けておくことをお勧めします。

充電の目安と使用時間
充電時間 使用時間*

MDR-IF520RK	MDR-IF520RK
約1時間	約1時間15分
約24時間*	約24時間
約30時間	

6 ヘッドホンを充電するの手順1から3の方法で電池を本機に入れます。

乾電池の持続時間*

乾電池の種類 持続時間
MDR-IF520RK MDR-IF520RK

ソニーアルカリ	約7時間
乾電池LR6(SG)	約8時間

ソニーマンガン	約35時間
乾電池R6P(SR)	約40時間

* 1kHz, 1mW+1mW出力時
* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

乾電池で使うには

本機は別売りの単3形乾電池でもご使用になれます。

「ヘッドホンを充電する」の手順1から3の方法で電池を本機に入れます。

乾電池の持続時間*

乾電池の種類 持続時間
MDR-IF520RK MDR-IF520RK

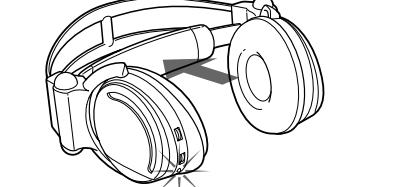
ソニーアルカリ	約7時間
乾電池LR6(SG)	約8時間

ソニーマンガン	約35時間
乾電池R6P(SR)	約40時間

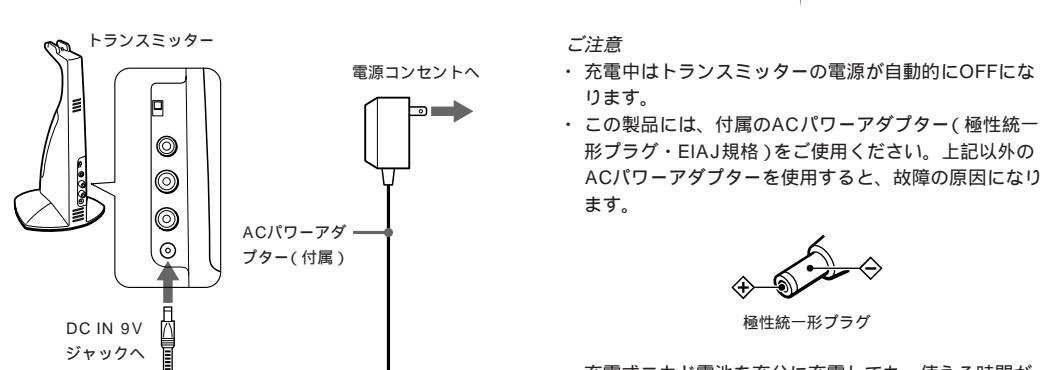
* 1kHz, 1mW+1mW出力時

電池の残りを確認するには

サスペンダーを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。電源ランプが暗い、または音が歪んだり雜音が多くなったときは、充電するか、乾電池でお使いください。

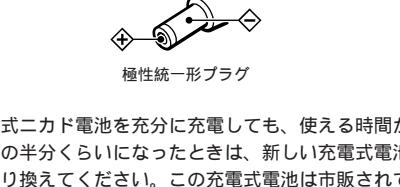


- トランシミッターに電源をつなぐ。



ご注意
・充電中はトランシミッターの電源が自動的にOFFになります。
この製品には、付属のACパワーアダプター(種統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

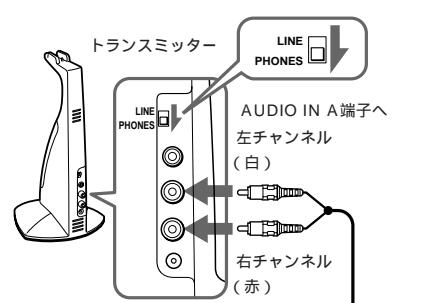
・充電式ニカド電池を充分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池を取り換えてください。この充電式電池は市販されていませんのでお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。



トランシミッターを設置する

- トランシミッターをAV機器につなぐ。
AV機器の出力端子の種類に合わせて①または②を選んでください。

- ヘッドホン端子につなぐ場合
INPUT SOURCEスイッチをPHONESにします。



ご注意
本機は、安全のため付属の充電式電池のみ充電できるようになっています。他の同じ形の電池や充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。

充電ランプが点灯しない場合は
トランシミッター上部の充電用端子がヘッドホンの充電用の穴と正しく接続しているか、ヘッドホンの位置を確認してください。

ヘッドホンをお使いになったあと再充電するには
本機の充電は必ずしわがままで、ヘッドホンをトランシミッターの上に掛けたままにしておいても、充電のしきりによって故障することはあります。ヘッドホンを使わないときはいつもトランシミッターの上に掛けておくことをお勧めします。

充電の目安と使用時間
充電時間 使用時間*

MDR-IF520RK	MDR-IF520RK
約1時間	約1時間15分
約24時間*	約24時間
約30時間	

* 1kHz, 1mW+1mW出力時
* 充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

乾電池で使うには

本機は別売りの単3形乾電池でもご使用になれます。

「ヘッドホンを充電する」の手順1から3の方法で電池を本機に入れます。

乾電池の持続時間*

乾電池の種類 持続時間
MDR-IF520RK MDR-IF520RK

ソニーアルカリ	約7時間
乾電池LR6(SG)	約8時間

ソニーマンガン	約35時間
乾電池R6P(SR)	約40時間

* 1kHz, 1mW+1mW出力時

電池の残りを確認するには

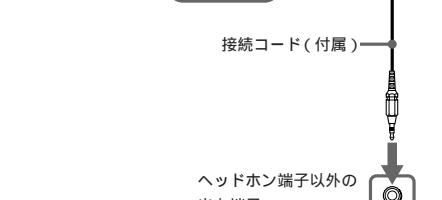
サスペンダーを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。電源ランプが暗い、または音が歪んだり雜音が多くなったときは、充電するか、乾電池でお使いください。



ご注意
・充電中はトランシミッターの電源が自動的にOFFになります。

この製品には、付属のACパワーアダプター(種統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

・充電式ニカド電池を充分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池を取り換えてください。この充電式電池は市販されていませんのでお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせの上、お取り寄せください。



ご注意
・AUDIO IN端子は、A、またはBどちらか片方の端子だけをお使いください。両方の端子に2台のAV機器を同時につなぐと、両方の信号がミックスされて再生されます。

接続コードをイヤホン端子(モノラルミニジャック)に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャック・モノラルミニプラグ)を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

・ウォームマンはソニー(株)の登録商標です。

使いかた

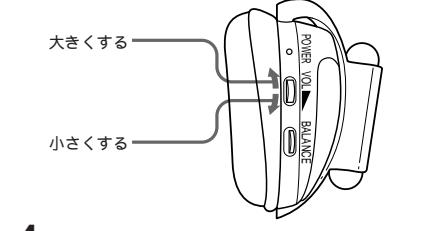
音声を聞く

- トランシミッターに接続したAV機器の電源を入れます。
つないだAV機器から音声信号が入力されるとトランシミッターの電源が自動的に入り、赤外線発光部が点灯します。トランシミッターを作り出すリニアサウンドをヘッドホンで聞くことにより、より臨場感のある音が楽しめます。

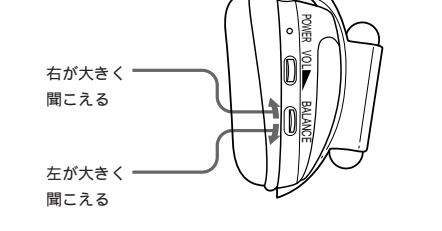
- ヘッドホンをかける。
電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。



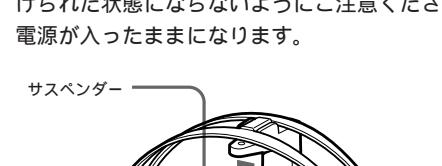
- 音量を調節する。



- 左右の音量のバランスを調節する
(MDR-IF520RKのみ)



- ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます。『オートパワーオン/オフ機能』お使いにならないときは、サスペンダーが引き上げられた状態にならないようにご注意ください。電源が入ったままになります。



- ヘッドホンから音が聞こえないときは
A ミュート機能

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増えると、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランシミッターに近づくと、赤外線がさえぎられないとすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

約5分以上音声信号が入力されないと
トランシミッターの電源が自動的に切れます。

音声信号が途切れたり、非常に小さい音が約5分以上続くと
トランシミッターの電源が切れることができます。この場合は接続した機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。

お使いになったあとは

ヘッドホンをはずし、トランシミッターの上に掛けて置いてください。次にAV機器の電源を切ります。トランシミッターの電源も自動的に切れます。(この場合、先にヘッドホンをはずしてください。トランシミッターの電源が先に切れると赤外線が切れため、雑音が聞こえることがありますのでご注意ください。)

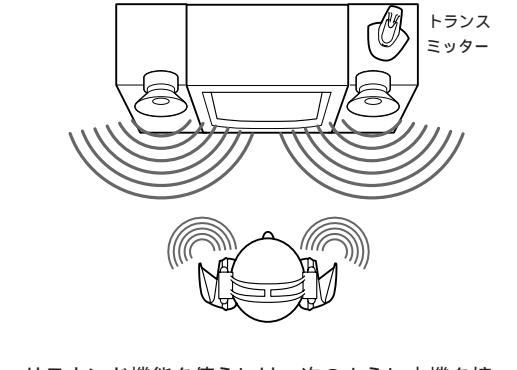
ご注意
トランシミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。

接続コードをイヤホン端子(モノラルミニジャック)に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャック・モノラルミニプラグ)を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

・ウォームマンはソニー(株)の登録商標です。

テレビやビデオなどの音声をより臨場感のある音で聞くには

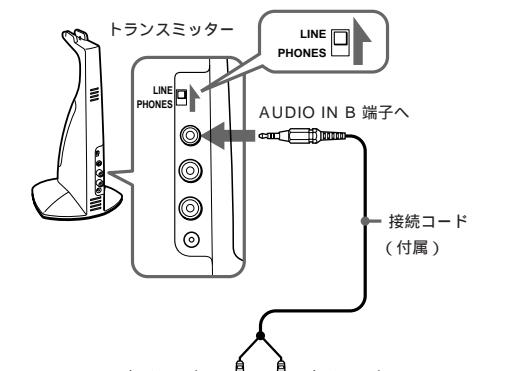
・サラウンド機能 (MDR-IF520RKのみ)
ステレオスピーカー付きのAV機器をお使いになると、正面のスピーカーからの音声と同時にトランシミッターが作り出すリニアサウンドをヘッドホンで聞くことにより、より臨場感のある音が楽しめます。



サウンド機能を使うには、次のように本機を接続、設定します。

- 接続する。
以下の接続方法があります。
INPUT SOURCEスイッチをLINEにします。

- 音声出力端子付きステレオテレビに接続する場合

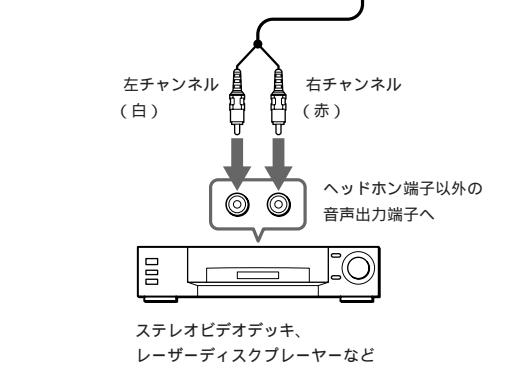


- オーディオ機器に接続する場合



- ステレオビデオデッキ、レーザーディスクプレーヤーなど

- ステレオビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなどに接続する場合



- コンポーネントステレオなど

ご注意
AV機器のヘッドホン端子には接続しないでください。正面のスピーカーから音が出なくなり、サラウンド効果が得られません。

- ヘッドホンのハウジングキャップを下図のよう開いておく。
AV機器のスピーカーからの音声も同時に聞き取れるようにします。



- トランシミッターのSURROUNDボタンをONにして、接続した機器の再生を始める。
サラウンド機能を解除するには、もう一度SURROUNDボタンを押してOFFにします。



ご注意
・次のような